

令和7年度 学校評価報告書

丹波篠山市立岡野小学校

校長 足立 貞治

1 学校教育目標等

確かな学力 と 豊かな心 をもった岡野っ子の育成
～ みんなの夢をみんなで応援しよう ～

2 今年度の重点目標

- (1) 豊かな人間関係や人権感覚の育成に努め、安全安心な学校づくりを推進する。
- (2) 言語活動を充実し、確かな学力の定着を図る。
- (3) 生活習慣を定着させ、教育環境を充実する。
- (4) 家庭や地域との連携を深め、「ふるさと岡野」を誇りに思う態度を育む。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
安全・安心な学校づくり	学校・家庭・地域と連携強化した安全で安心な学校づくりができたか	A	毎月行う施設安全点検や学校運営協議会委員による校内安全点検により、危険箇所等の改善を図ることができた。また、防災・防犯訓練や消防団と連携した消火訓練等を実施した。
	健康教育を充実させることができたか	B	日々の健康観察や感染予防対策を徹底して行った。
学習指導	ことばの力を高める学習活動の充実が図れたか	B	授業研究や研修会を実施し事後研究会が充実できた。特に若い教職員が先輩教職員から学ぶことが多く今後の活かせる実践的な研究ができた。
	基礎的・基本的な学力の定着が図れたか	B	少人数指導や同室複数指導により、児童の困り感や課題を見つけ教師間で情報交換しながら、きめ細かな指導を行ってきた。
生徒指導	生活習慣の定着や児童の内面理解に基づいた生徒指導の充実が図れたか	A	いじめや問題行動など、組織的な指導に取り組んだ。今後も学校全体で児童の様子を見取り、保護者と情報を共有しながら、未然防止・早期発見・早期対応に努めていく。
ふるさと教育	地域素材や人材を活用したふるさと教育に取り組めたか	A	黒豆学習やオオムラサキ、岡野隕鉄等のふるさと学習に取り組んだ。学校運営協議会で「岡野っ子応援隊」を立ち上げ、学習のサポートにも参加していただいた。今後も学校支援ボランティアを募っていきたい。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

- ・保護者の送り迎えも多くなってきており、集団登校の呼びかけや登校班の柔軟な組み換えが必要である
- ・保護者同士のつながりが近年だんだんと薄くなってきているように感じる。先生方の苦労も大変であると感じる。
- ・授業の様子を参観したところでは、落ち着いているように感じた。どのような取組が効果があったのか分析され、次年度さらに上向くように教職員の意思統一をされることを期待する。

(2) 総合的な評価（意見・感想）

- ・運動会は地域とともに開催して2年になる。児童も熱中症などの心配をすることがなく5月開催はよかったと思う。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
地域との連携	・「岡野っ子応援隊」の取組は、地域の教育力を生かすだけでなく、いろんな人に学校に来てもらい、学校や先生(職員)、子どもたちの様子を知ってもらう素晴らしい活動だと思う。微力だがこれからも参加させてもらいたい。
保護者との連携	・あいさつ、言葉遣い、マナー(食事も含めて)等は、学校と家庭で考えていくべきだと思う。親や大人のまねをすることが多いので、自分の行いを反省しつつ、前向きに子どもと関われるように、保護者への発信もお願いしたい。・「早起き・朝ご飯」は何歳になっても大切な生活リズムである。それを守れるように保護者の方と協力してやってほしい。学校内の教育だけでは限界があるので家庭内での生活、親の行動・言動が大事である。
学習指導	・アンケートでは、全体として悪い評価が少ないのは良いことだが、家庭での「読書」が少ないという評価の児童が多いのが気になる。読書習慣がつくような指導をお願いしたい。 ・学校の情報発信の評価がとても高いのは、通信やHPの取組の成果と感じる。その情報発信で「読書」や「家庭学習」等について、保護者への啓発が進むとよいが。 ・家庭での学習時間がとれておらず習慣づいていない、読書の習慣がついていないなど、保護者は自覚しておられるようだが、それをふまえて、どんな工夫ができるのか、親として子どもとどう関わっていかなければならないか等、具体的に保護者に返していくことも必要ではないかと思う。学校に全て任せるのはだめだと思う